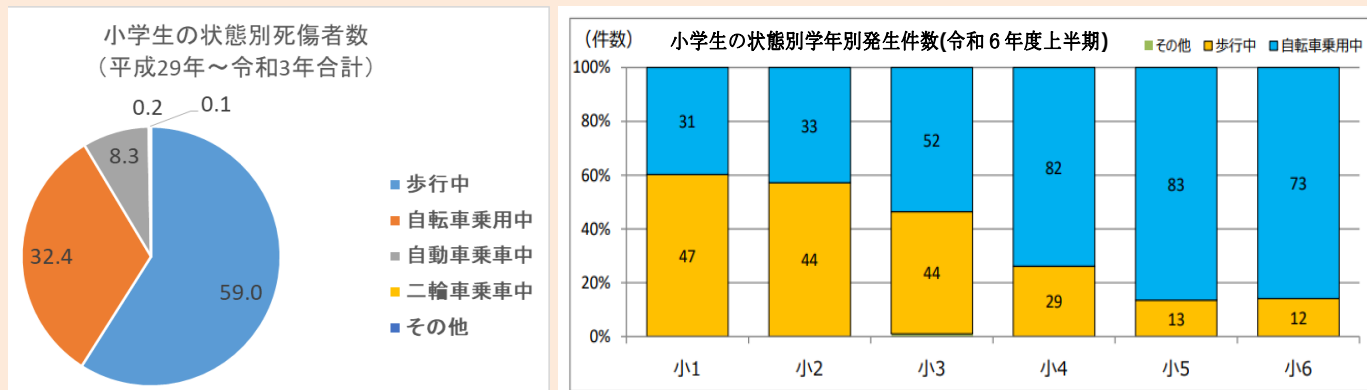


栄 さかえ小 ニュースレター

秋の全国交通安全週間

9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間は、秋の全国交通安全運動週間になります。今年の全国重点は以下の3点です。

- (1) 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- (2) 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- (3) 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



警視庁統計資料より

警視庁の統計資料によると、小学生の交通事故による死傷者数を状態別に見ると、**歩行中の事故が多く**、全体の約6割を占めています。時間帯別で見ると**登下校時が全体の約4割**を占めているようです。また、小学生の交通事故の発生件数を状態別・学年別に見ると、**学年が上がるにつれて、自転車乗用中での割合が高くなっています**。発生場所としては比較的交通量の少ない区市町村道などの交差点や交差点付近で、発生状況としては**出会い頭の事故**が多いようです。

そこで、子供たちが交通事故に遭わないように、以下のことについてご家庭でもお話しください。

- ・横断歩道や信号機が近くにあるときは、そこまで行って横断する。
- ・横断する前には、青信号であっても「必ず立ち止まる」「右左をよく見る」「車が止まっているのを確認する」。さらに、手をあげる、運転者に顔を向けるなどして横断する意思表示をする。
- ・「見通しが悪い交差点や曲がり角では、急に車や自転車が飛び出してくること」や「駐車中の自動車や看板などで向こうが見えなくても自動車やバイクなどが近付いてくること」があるため、そのような場所では、立ち止まって右左を見たり、先に頭を出して見たりする。
- ・自転車に乗るときにはライト、ブレーキなどの点検を行い、必ずヘルメットをかぶる。

9月の読み聞かせ

9月13日（金）に、毎月、読み聞かせボランティアの方々が実施してくれている「第3回読み聞かせ」がありました。今回も、子供たちの心を引き込む素晴らしいお話を読んでもうございました。低学年の教室では、楽しい絵本が人気で、子供たちは笑い声をあげたり、目を輝かせながら聞き入ったりしていました。高学年では、子供たちの感情を揺さぶったり、考えさせたりするような話もあり、ボランティアの方々が情感豊かに読み進める中で、子供たちも集中して聞き入っていました。子供たちにとって読み聞かせは、本と触れ合う貴重な時間であり、語彙力や想像力を育む機会でもあります。これからも子供たちのために、色々な本を紹介していただきたいと思います。

